

平成26年度 病害虫発生予察注意報 第2号

平成26年6月6日

栃木県農業環境指導センター

作物名 : 果樹類 (なし・りんご・もも・うめ・ぶどう等)

病害虫名 : 果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ)

- 1 発生予想 発生量 **多い**
- 2 発生地域 **県内全域**
- 3 注意報発表の根拠
 - (1) 果樹の主要害虫であるチャバネアオカメムシは5月のフェロモントラップによる総誘殺数が県内5箇所の調査地点で平年比179~400%と多い(表1)。
 - (2) 環境省によると、本年のスギ・ヒノキの花粉飛散量が少ないため、餌となるきゅう果(実)の量も少ないことが予想され、山林からの飛来時期が早まる可能性が高い。
 - (3) 気象庁の一か月予報は高温傾向であり、果樹カメムシ類の活動に適している。

表1 5月のフェロモントラップによるチャバネアオカメムシ
総誘殺数(頭)

	那須 烏山市	矢板市	宇都宮市 (農試)	宇都宮市 古賀志	佐野市
平成26年度	9	100	311	175	240
平成25年度	1	63	12	89	18
平成24年度	12	129	154	212	394
平成23年度	0	37	2	26	22
平成22年度	2	24	69	143	45
平成21年度	4	63	137	115	138
平成20年度	0	46	148	51	49
平成19年度	3	62	74	78	65
平成18年度	3	21	104	83	174
平成17年度	0	7	21	14	14
平成16年度	4	106	56	141	127
平年値	3	56	78	95	105
平年比(%)	310	179	400	184	229



写真 チャバネアオカメムシ成虫

- 4 防除対策
 - (1) こまめに園内をよく観察し、飛来が認められたら薬剤で防除する(表2)。
 - (2) 多目的防災網を完全展張し、園全体をすき間無く被覆する。
 - (3) 有袋栽培では、早めに袋掛けを行う。
- 5 防除対策上の留意点
 - (1) 夜温が高く風の無い蒸し暑い日没時に飛来が多いため、夕方か早朝に防除する。
 - (2) 山林に隣接した園地や過去に多発した園地では、特に飛来に注意する。

- (3) ピレスロイド剤やネオニコチノイド剤は、効果が比較的長く持続するため、長期間にわたり飛来する果樹カメムシ類に有効である。ただし、過度な防除は天敵相を破壊し、他の害虫の多発生を招くため、必ず果樹カメムシ類の飛来を確認してから防除する。
- (4) 薬剤散布時には、近隣作物への薬剤の飛散（ドリフト）防止や、早朝の散布作業時には近隣への騒音に注意する。

表2 果樹類（なし・りんご・もも・うめ・ぶどう）のカメムシ類に登録のある主な薬剤

作物名	薬剤名	希釈倍率	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	薬剤 系統*1
なし（6～7月）					
	ベストガード水溶剤	1000倍	14日	3回以内	ニコ
	Mr.ジョーカー水和剤	2000倍	14日	2回以内	ピレ
	スミチオン水和剤40	800~1000倍	有袋:14日 無袋:21日	6回以内	リン
なし（8月以降）					
	スタークル(アルバリン)顆粒水溶剤	2000倍	前日	3回以内	ニコ
	ダントツ水溶剤	2000~4000倍	前日	3回以内	ニコ
	アグロスリン水和剤	1000~2000倍	前日	3回以内	ピレ
	スカウトフロアブル	1500倍	前日	5回以内	ピレ
	ロディー水和剤	1000倍	前日	2回以内	ピレ
りんご					
	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	7日	2回以内	ニコ
	スミチオン水和剤40	800~1000倍	30日	3回以内	リン
もも					
	アーデント水和剤	1000倍	前日	3回以内	ピレ
	アグロスリン水和剤	2000倍	前日	5回以内	ピレ
	スミチオン水和剤40*2	800~1000倍	3日	6回以内	リン
うめ					
	スカウトフロアブル	2000倍	前日	3回以内	ピレ
ぶどう					
	ダントツ水溶剤	2000~4000倍	前日	3回以内	ニコ

*1 薬剤系統略称は以下のとおり【ニコ：ネオニコチノイド剤、ピレ：ピレスロイド剤、リン：有機リン剤】。

*2 スミチオン水和剤40は、ももでは5月～6月の散布は薬害を生じるので使用しない。

詳しくは、農業環境指導センターまでお問い合わせください。

TEL028-626-3086

<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/index.html>